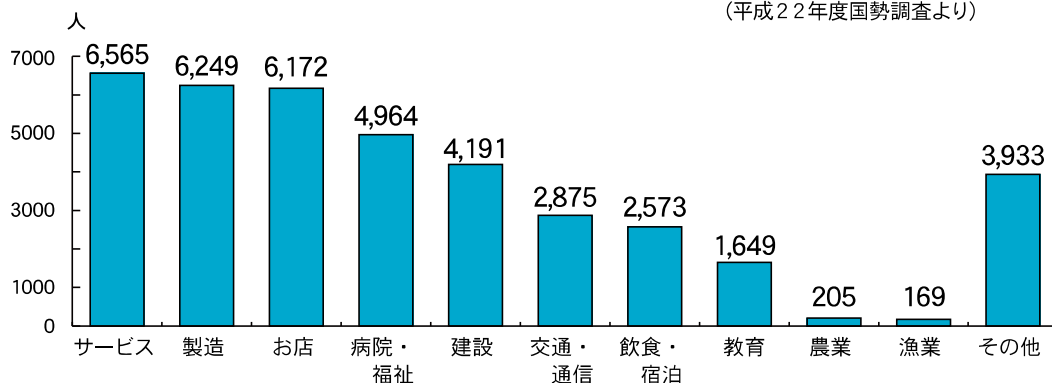


3 調べよう 物をつくる仕事

室蘭市の人たちの仕事しらべ

(平成22年度国勢調査より)



室蘭市では、どんな仕事をしている人があるかを調べましょう。また、工場と港のかんけいをしらべましょう。

- ものづくりのまち
- やすこさんたちは、まちめぐりをしたときに、港のまわりにたくさんの工場があることをしりました。



ぼくたちがすんでいる室蘭には、鉄にかかわる工場が集まっているんだよ。

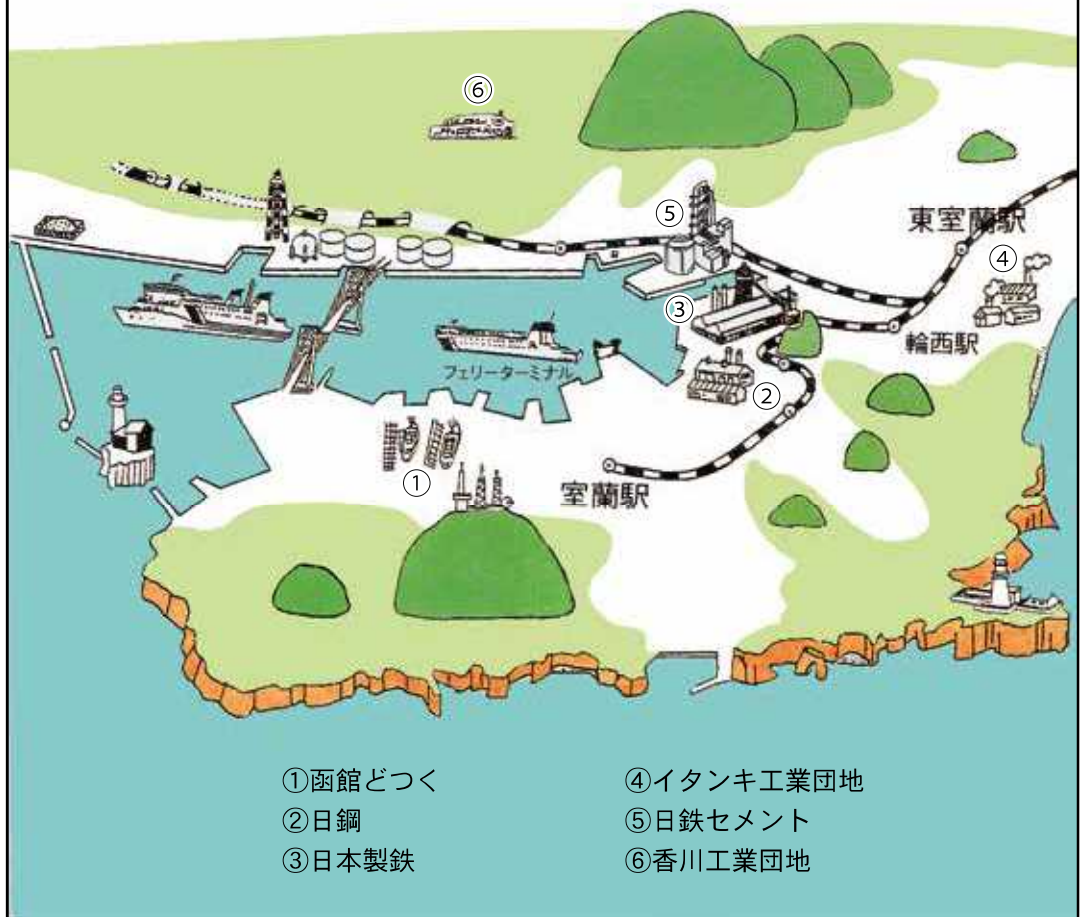


函館どつく

おとうさんから、室蘭は「ものづくりのまち」っていわれていると聞いたことがあるわ。



室蘭の工場



やすこさんが地図で調べてみると、室蘭には、港にめんして日本製鉄や日鋼などの大きな工場があり、イタンキ工業団地や中島の入り口にも中小の工場がたくさんあります。

また、香川町の工業団地には、せいみつな部品をつくる工場があることがわかりました。

ものづくりのまち 室蘭

鉄にかかわる大工場を中心にして、それをささえるたくさんの工場があります。また、大きな工場どうしもおたがいにかかわりあってせい品をつくっていることもあります。

「どの工場と、どの工場がどのようにむすびついているかをしらべてみるのもいいですね。」と先生がおっしゃいました。

とくしゅな技術をもっている工場や室蘭のかんきょうを生かして船やせいみつな部品をつくっている工場もあります。



函館どつく



日鉄セメント



香川工業団地(キメラ)





日本製鉄



日鋼



先人が築き上げた技術^{きず}を未来へ引きついでいくためにも、
室蘭でつくられているせい品や、働く人の姿^{はたら}を^{すがた}実際に見^{じっさい}
て学ぶことが大切です。室蘭には、工場見学の受け入れを行う
会社や、ものづくり体けん^{ていきょう}を提供する大学や市民団体など
が多くあります。これらのものづくりに親しむための取り組み
を、室蘭では『てついく（鉄育）』と名づけています。



親子工場見学・ものづくりバスツアー



工場で働く人

(1) 鉄をつくるしごと



空からみた日本製鉄



「すごく広い場所にいろいろなたてものがたっているわ。それぞれの工場でどんなものがつくられているか調べてみたいわ。」

鉄をつくる工場
やはたらく人のよ
うすを調べましょ
う。

● やすこさんは、市内で一番大きな工場
● の日本製鉄室蘭製鉄所を調べることにし
● ました。

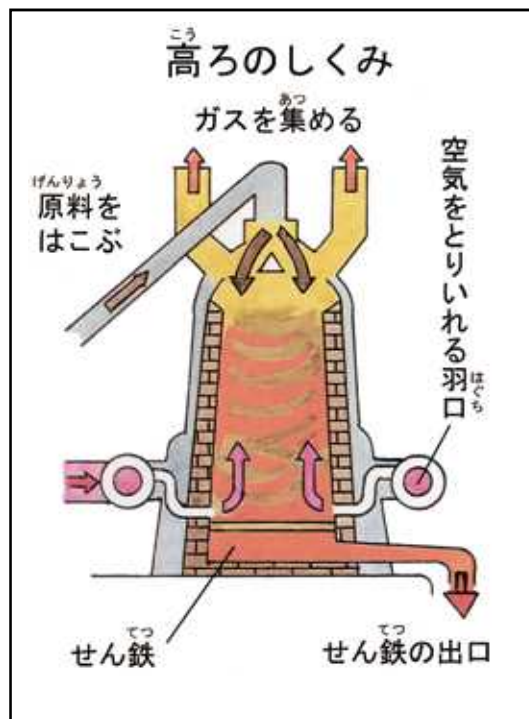
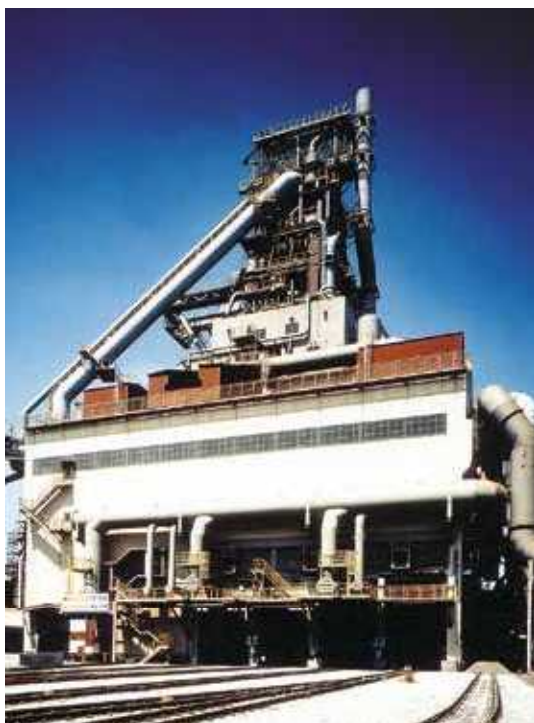
● この工場では、鉄こう石から鉄をつく
● っています。

● 工場のきかいを動かす人、きかいをし
● ゆうりする人、新しいぎじゅつを考える
● 人など、協力している会社の人などを合
● わせると、ぜんぶで4000人ほどの人
● がはたらいています。この製鉄所の広さ
● は、学校のグラウンドのおよそ400ばい
● もあります。

①高ろ

高ろは、コークスをもやして高い温度にし、鉄こう石からせん鉄をとりだすところです。

いぜんは、まっ赤にとけたせん鉄が火花をちらしてながれるのが見えたが、今は、はたらく人の安全とかんきょうを考えてカバーがしてあります。



高ろとその仕組み

②鉄せいひんができるまで

日本製鉄には鉄こう石からとりだしたせん鉄をねばり強いのがねにかえる工場もあります。

さらに、このはがねをもとに、自動車やきかいの部品の材料にする工場や、つり橋用のワイヤをつくる工場がじゅんじょよくならんでいます。

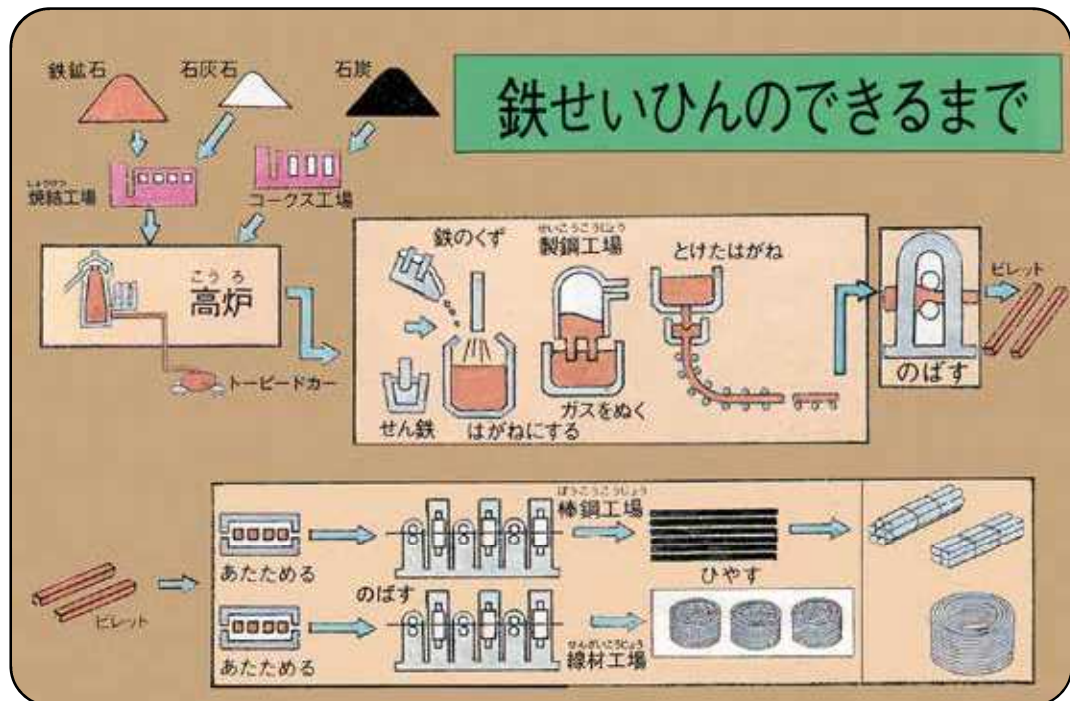
ここでつくられた製品は、主に国内の自動車メーカーや部品メーカーなどにおくりだされます。



鉄こう石を溶かして銑鉄をとりだす高炉(左)



銑鉄に酸素をふきつけ、ねばり強い鋼にする転炉(右)



棒鋼・線材製品が加工されるようす

＜鉄づくりのうつりかわり＞

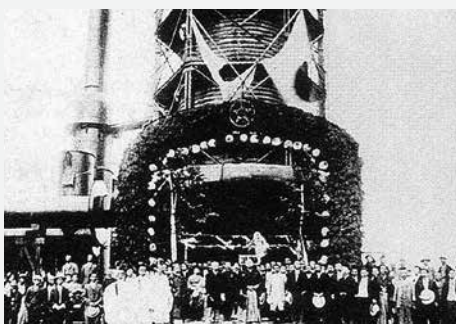


- 室蘭で鉄づくりがさかんになったわけ
- ①鉄のげんりょうとなる、鉄こう石や石炭が近くでとれた。
 - ②鉄や石炭を運ぶ、鉄道が通っていた。
 - ③自然のよい港にめぐまれていたので、鉄を運ぶのに、つごうがよかった。

室蘭で製鉄業がさかんになったのは、こうした条件と、工場で力をあわせ働いたお父さんたちのがんばりがあったからなんだ。



みつぐ君のおじいさんのころ

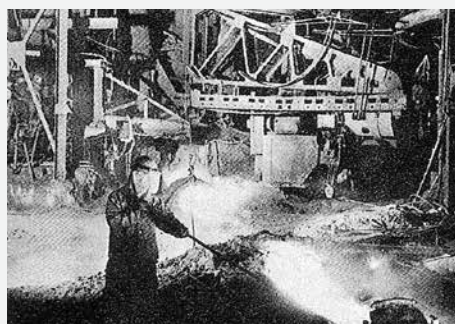


高ろで、はじめて鉄をつくった日は、ちょうちん行れつをして、よろこび合いました。

外国からの輸入にたよっていた鉄を、北海道でもつくれるようになったからです。

当時は、2組2交代で仕事をすすめていました。

みつぐ君のお父さんのころ



鉄をつくるりょうも、どんどんふえました。げんりょうになる、石炭や鉄こう石を、外国から輸入しました。

あつさとたたかう、きびしい仕事でしたが、3組3交代で、5日に1度は休めました。

(2) 大きなせいひんをつくるしごと



製鋼工場「120トン電気炉」

どんなせいひん
をつくっているの
か調べましょう。
また、はたらく人
のようすも調べま
しょう。

日本製鋼所室蘭製作所（日鋼）から「ガーン、ガーン」と大きな音がします。みつぐくんは、この音の正体を調べに行くことにしました。

日鋼では、かんれん会社や協力会社の人をふくめると3000人ぐらいの人がはたらいているそうです。

この工場では、鉄くずを電気の「ろ」で、どろどろにとかしてはがねをつくり、それをもとにしていろいろなせい品にしています。

とくに、はがねのかたまり（鋼塊）は世界最大670トンをつくらることができます。主な製品は発電所で使われるタービンロータ軸



世界最大670トン鋼塊

や天然ガスを輸送するクラッド鋼管など、ものづくりの技術は世界中でみとめられています。

市内でもこの工場で作ったせい品が活躍^{かつやく}しています。
白鳥大橋のケーブルバンド（とめがね）もこの工場で作ったそうです。

みつぐくんは、大きな音のしょうたいもわかりました。これは、たんぞう工場ではがねをたたいているハンマーの音だったのです。はがねをたたくとさらにねばりがあるじょうぶなはがねができるそうです。

みつぐくんは次に、さらに大きな1万4千トンプレスも見せてもらいました。1250どもあるまっ赤なはがねをグーッと押しつぶしてしつのよいはがねにしています。



＜おじさんの話＞

うちの工場は、鉄製品のほかにもいろいろな技術をもっているんだよ。市内では、石川町のごみしよりしせつや文化センターの冷暖房システムにも日本製鋼所がかかわっているんだ。



たんれん
鍛錬工場「1万4千トン水圧プレス」



＜みつぐくんのかんそう＞

「こんなに遠くで見えていても顔があつくなって外に出たくなっちゃった。何時間も1万4千トンプレスのそばではたらいっている人は、たいへんだらうなあ。このまっ赤なはがねについて発表しよう。」

室蘭の名勝

めい しょう

名勝とは

言い伝えに登場するなどさまざまな由来^{ゆらい}をもち、
美しいけしきをもつ土地で、これを大切に守って
いくために、国が指定^{してい}した土地のこと。

「ハル・カル・モイ」

アイヌ語で「食りよう・
とる・入江」という意味
です。

地名のとおり魚や貝など
を採^とるのに使われた場所
なのでしょう。



「マシ・チセ」

アイヌ語で「海ネコ(の)・
家」という意味です。

今も海鳥が多く、すを作っ
ている場所です。

アイヌの人たちがかりを
したあとも見つかってい
ます。



ムロランの土地の名前の由来^{ゆらい}

室蘭市には、アイヌ語がもとになった地名が100以上あります。

室蘭（むろらん）→ モロラン・モルエラン（ゆるやかに下る坂）

茶津（ちゃつ）→ チャシ（とりで）

絵鞆（えとも）→ エンルム（みさき）

イタンキ浜 → イタンキ（おわん）

幌筥（ほろもえ）→ ポロ・モイ（大きい^{わん}湾）

みなさんも、こうした地名がないかさがしてみしょう！

名勝ピリカノカ^{えともほんとうそとかいがん}絵鞆半島外海岸として、平成24年（2012年）新たに国の指定^{してい}を受けました。
「ピリカノカ」アイヌ語で「美しい・形」という意味です。



「トゥカル・イシヨ」
アイヌ語で「アザラシ・岩」という意味です。
今、アザラシはなかなか見られませんが、かつてはよく来ていたことを示す地名です。



「ポロ・チケプ」
アイヌ語で「親である・がけ」という意味です。
とう台で有名な地球岬ですが、アイヌ語の地名のとおり、海からみると写真のようにとても大きながけになっています。

むかしの室蘭の地図



絵鞆半島に付けられたアイヌ語地名
明治初め頃「胆振国室蘭郡全図」より



江戸時代に作られた室蘭地域の図
まつらたけしろう 松浦武四郎「三航蝦夷全図」より

市内にはアイヌ語の地名が多く、古くからアイヌの人たちが生活していたことを示しています。

むかしの人たちは、いったいどんな生活をしていたのでしょうか。